

一般ニュース

「第1回東京大学総長賞」の受賞者(団体)決定される!!

学生表彰選考委員会(委員長林 良博)では、今年度から募集を開始していた「東京大学総長賞」について、本学各方面から延べ14件に及び推薦を受け、このたび第1回表彰式(10月8日実施)に向けて慎重に選考審査にあたり、以下の個人3名及び1団体を選出した。

表彰式当日は、表彰及び総長の挨拶の後、各受賞者(個人・団体)からのプレゼンテーション及び懇談会が予定されており、総長からは、各部・サークル代表の学生諸君にも多くの出席を求め、共に祝福したいとの意向である。

なお、第2回表彰(3月実施)についても引き続き推薦を受け審査に当たるが、今回選考されなかった個人、団体についても選考対象となり、次回の表彰式は卒業式前日に予定する旨が確認された。

記

受賞者

個人の部 経済学部 3年 山田 淳
(最年少七大陸最高峰制覇)
総合文化博3年 小野 正嗣
(第15回三島由紀夫賞受賞)
農学生命博3年 和 愛軍
(各種社会活動、国際交流)
団体の部 運動会 応援部代表 石橋 悠司
(課外活動支援)

日時 平成14年10月8日(火) 17:00~

場所 農学部弥生講堂(一条ホール)

(学生部)

総長の海外出張

- 平成14年9月29日(日)~平成14年10月1日(火)
第8回東アジア研究型大学協会(AEARU)総会/
第11回理事会出席(大韓民国)
- 平成14年10月11日(金)~平成14年10月13日(日)
東アジア四大学フォーラム(CCC)出席(大韓民国)

故 向坊 隆 元総長のお別れ会行われる

7月に亡くなられた向坊 隆元総長を偲ぶ9団体合同のお別れ会が、8月8日(水)東京都内のホテルで行われた。

西澤潤一日本原子力産業会議会長による挨拶の後、中曾根康弘元内閣総理大臣、武大偉中華人民共和国駐日本国特命全権大使、佐々木毅東京大学総長、那須翔東京電力株式会社相談役、伊原義徳元原子力委員会委員長代理、

近藤次郎元日本学術振興会会長が追悼の辞を述べられた。

出席者は、各界関係者約1,000人に及び、向坊元総長の幅広い活動を偲んだ。

「東京大学オープンキャンパス2002」開催される

去る7月25日(木)本郷キャンパスにおいて、高校生など大学進学を志望する若い方々に、本学の教育研究を紹介するため、第3回「東京大学オープンキャンパス2002」を行い、全国から1,600名以上の応募が寄せられたなか、先着順で決まった1,200名が当日参加した。午前中は大講堂(安田講堂)で大島まり生産技術研究所助教授による「機械工学の新しいパラダイム バイオエンジニアリング」と河合祥一郎大学院総合文化研究科・教養学部助教授による「シェイクスピアの世界観 見えないものを見る!」の講演が行われ、各講演とも参加者の真剣な聴講ぶりに、講演者も熱のこもった講演となった。午後には法・医・工・文・理・農・経済・教育の8学部のコース、学生によるガイダンス、学内諸施設見学の全10コースに分かれ、本学教官・学生との交流、体験授業、教職員による実験室、研究室等での施設説明などが行われた。



ガイダンスを聴く女子学生たち



附属家畜病院を見学する学生たち

また、学内諸施設見学コース



① 俸給表の引下げ改定

〔行政職俸給表〕

すべての級のすべての俸給月額について、引下げ改定を行うこととする。各俸給月額について級ごとに同率の引下げとすることを基本とするが、官民の初任給の動向や民間の管理職給与の動向等を踏まえ、初任給付近の引下げ率を若干緩和するとともに、管理職層の引下げ率について平均をやや超える引下げ率とする。

Table with 4 columns and 4 rows, empty cells.

Table with 13 columns and 2 rows, empty cells.

再任用職員の俸給月額についても、これに準じた改定とする。

〔行政職以外の俸給表〕

行政職以外の俸給表については、行政職俸給表との均衡を基本に改定を行うこととし、指定職俸給表については、行政職俸給表の管理職層と同程度の改定とする。

② 扶養手当

ア) 女性の社会進出などに伴う家族の就業形態の変化や民間における配偶者手当の見直しの動き等を考慮して、職員が扶養する配偶者の手当額を引き下げる。

月額 14,000円 (現行 16,000円)

イ) 子等を扶養する職員の家計負担の実情や配偶者に係る手当額を引き下げるにより影響を受ける世帯全体の生計費負担を考慮し、配偶者以外の扶養親族のうち3人目以降の子等の手当額を引き上げる。

月額 5,000円 (現行 3,000円)

③ 期末手当・勤勉手当等

本年4月までの1年間における民間ボーナスの支給割合との均衡を図るため、期末手当の支給月数0.05月分を、まず3月期で引き下げる。

その上で、年間支給回数を2回とすることに伴い、3月期の期末手当に相当する特別給を、民間ボーナスにおける上半期・下半期の割合等を考慮して、6月期及び12月期に配分する。

本年度については、給与の遡及改定を行わないこと、官民給与を均衡させるための所要の調整を12月期の期末手当において行うこととしているため、3月期の期末手当のうち0.3月分を12月期に配分する。

平成15年度においては、残りの0.2月分の期末手当に相当する特別給を6月期に配分するとともに、民間ボーナスの支給状況を参考としつつ、6月期及び12月期における期末手当・勤勉手当の割合を改定することとする。

指定職俸給表を適用される職員に支給される期末特別手当についても、一般の職員の特別給との均衡を考慮し、

年間支給月数を3.5月(前年度比 0.05月)とするとともに、3月期の期末特別手当を12月期と6月期に配分する。

再任用職員の期末手当等についても、同様に年間支給月数の引下げを行い、2.45月(前年度比 0.05月)とするとともに、3月期の期末手当等を12月期と6月期に配分する。

④ 委員、顧問、参与等の手当

委員、顧問、参与等の手当の支給限度額を800円引き下げ、38,400円(現行39,200円)とする。

また、政府の委員会等の委員の中には、極めて高度な能力・識見等が必要とされる一方、現行の支給限度額ではそれに見合う人材の確保が難しい場合もあり、そのような特別な事情があると判断される場合は、特例的な限度額として、一般職の最高号俸である指定職12号俸の年間給与を日額に換算した額を参考として定める100,000円を最高支給限度額として設定することとする。

⑤ その他

ア) 初任給調整手当

医師に対する初任給調整手当を次のとおり改定する。

④医療職0円00現行隣9 固A侈 ケ宾掄獲韶乘 榆悦 厶 厶槍 .

7. 公務員給与制度の基本的見直し

公務員給与については、昨年12月の公務員制度改革大綱で、「能力等級制度」を前提とした新給与制度の導入を図ることとされ、その具体化の検討が進められている。人事院としては、民間企業における年功的な職能給制度の見直し、新たな仕事給や役割給への転換の取組等を十分に踏まえつつ、各府省において年次・年功的な運用に陥ることがないように、職員の職務・職責を基本とし、その能力・業績等が十分反映される給与制度を構築していく必要があると考えている。

公務員給与制度の見直しに当たっては、年功的運用により硬直になっているといわれる俸給について、俸給表の級構成や昇給の在り方などを見直すとともに、仕事や役割に応じた給与の新設、在職期間の長期化に対応する給与上の措置の導入、勤勉手当の在り方の見直し、地域間の給与配分の在り方などの諸課題について、早急に検討していく必要がある。

公務員制度改革に関する報告

1. 公務員制度に対する国民の批判と課題

人事院は、昭和23年に設立されて以来、中央人事行政機関として、公務員の中立公正の確保と労働基本権制約の代償機能という責務を担ってきた。

昨今、国民の公務員に対する批判が高まり、公務員制度改革が課題とされている中で、人事院としては、まず国民の公務員に対する批判を厳しく受け止めたうえで、セクショナリズム、キャリアシステム、退職管理（天下り）、年功主義などの是正を改革の共通認識とし、国家公務員法の全面改正を視野に入れ、古い体質の払拭と現代的な課題に機動的に対応できる公務員制度の確立に取り組んでいきたい。

2. 公務員制度改革が向かうべき基本的方向

(1) 国民全体の奉仕者としての公務員の確保・育成

ア) 採用試験の改革（これからの行政の中核を担う人材の確保）

行政の複雑・高度化の下で、国民の期待にこたえる質の高い行政を実現するためには、専門性や独創性に富んだ人材の確保・育成が重要な課題となってきた。

このため現在の公務員試験における知識偏重との批判も踏まえつつ、種採用試験を中心に、論文試験を主体とした、問題設定能力・多角的考察力等の能力検証を重視する採用試験の内容・方法に改めるほか、現在各府省の協力を得て人事院及び各府省の人事課長等3名で行っている人物試験について改善を図る。

イ) 退職管理の一元化と在職期間の長期化（「天下り」問題への対応）

「天下り」問題を解決するためには、退職後の再就職管理を内閣に一元化することにより、企業との癒着を防止するとともに、各人の能力に応じた公平な退職管理を目指す必要がある。

また、現在行われている早期退職慣行を是正し、原則として定年まで働ける体制を作ることは、「天下り」問題の是正あるいは個人の能力の活用という点からも不可欠である。そのため、能力・実績・適性に応じた厳しい人事管理、平均的な昇進年齢の引上げ、スタッフ職の整備と適切な処遇の確保、重要な地方機関の長への経験豊かな幹部職員の起用等により、在職期間の長期化に向けた取組を進めるとともに、これを前提とした給与制度等の在り方を検討し、必要な制度上の整備を行う必要がある。

（ウ）幹部公務員の人事交流推進（セクショナリズムの是正）

府省間人事交流は、異なった経験を持つ人材を送り込むことによってセクショナリズムを是正するとともに、組織を活性化し、また公務員個人にも、新しい行政分野に取り組みせることにより幅広い視野を持たせることが

管理能力等にも優れた有能な幹部公務員は不可欠であり、幹部要員の早期選抜、計画的育成システムは、今後とも必要である。

しかしながら、現行の幹部養成システムであるキャリアシステムは、様々な弊害が指摘されているため、現行の採用時の1回限りの採用試験の別による選抜方法の見直し、幹部要員への集中的・効率的人材育成の実施、中途採用者等への公平な機会の付与などに十分配慮し、新たな中核人材の選抜・育成システムの構築に向けて、有識者や各府省の参加も得て見直しに着手し、幹部公務員の選抜、養成システムについての国民的な合意形成を図る必要がある。

(3) 公務組織における専門性の強化

グローバル化、IT化等が進み、経済社会のシステムが極めて複雑化、高度化する中で、これらの状況に的確に対応し、国際的にも競争力のある行政の展開を可能とするため、行政全体の専門能力を高めることが強く求められている。

任期付職員法等による外部からの専門家の登用により、今後も高度の専門性が問われる分野、民間が先行している分野等では公務外から積極的に専門家を受け入れていく必要がある。

また、公務組織内においても特定の分野に精通し、外部の専門家と共同して政策形成等に当たることのできる人材を計画的に育成していく必要がある。これまでのように、2～3年ごとの頻繁な定期異動により幅広い経験を積ませる昇進管理ばかりでなく、職員の希望を踏まえつつ、一つの専門領域で職務経験を重ね、スペシャリストとして活用されるキャリアパスを用意する。このキャリアパスを組織に定着させ、スペシャリストの計画的育成を実効あるものとするためには、それぞれのキャリアパスごとに専門性を磨くことのできる教育・訓練の場や外部専門家、シンクタンク等との人事交流の機会を設けること等が必要であり、さらに専門家としてその職務を適切に評価した処遇を確保することも重要である。

(4) 職務・職責を基本とした能力実績主義の確立

ア 給与制度改革

前述の「公務員給与制度改革の基本的見直し」を参照。

イ 新たな人事評価制度の導入（公平で透明性のある能力実績評価）

公務には多種多様な職場や職域・職種が存在するため、以下を基本的な枠組みとしつつそれぞれに適合する人事評価の仕組みを構築する。新たな人事評価制度が適切に機能するためには、制度の導入に当たって職員の十分な理解と納得を得ることが重要である。

- ・評価の対象要素は、実績と能力とし、実績評価は、俸給、勤勉手当等に反映させ、能力評価はその結果の積み重ねを昇進管理・配置等に用いることを基本とする。
- ・実績評価は、組織目標等からブレイクダウンした各職員の職責や役割を明確にした上で、それを踏まえた業

務目標設定とその達成度評価により行う。また、能力評価は、職務遂行行動に着目し、そこに顕在化した能力の有無及び程度を測ることにより行う。

- ・人事評価は、評価者と被評価者双方の理解と納得の上に実施することが必要であり、評価方法の確立に加え、評価を円滑に実施するための評価者訓練や苦情処理の仕組みを整備する。なお、多面的評価など評価がより適切、公正となるような手法を検討する。

(5) 個人を重視した人事管理の推進

ア 女性国家公務員の採用・登用の拡大

現在、各府省等は、昨年5月に人事院が策定した「女性国家公務員の採用・登用の拡大に関する指針」に基づき、「女性職員の採用・登用拡大計画」を策定し、女性国家公務員の採用・登用の拡大に本格的に取り組み始めたところであり、今後この指針及び計画に基づき、各府省と連携しつつ、総合的かつ計画的に取組を推進する。

また、職業生活と家庭生活の両立のための環境整備として、育児休業制度等の拡充が図られたが、男性職員のこれら制度の活用が促進されるよう努める必要がある。

イ 業務の効率化と実効ある超過勤務の縮減（コスト意識の徹底）

業務遂行を効率化し、実効ある超過勤務の縮減を図るには、まず個々の事務についてその重要度、必要度を洗い直し、事務の合理化（既存の事務の統廃合、進め方の改善、アウトソーシング等）を行うことが必要である。長時間の超過勤務が慢性化している中で事務の合理化を行うためには、管理職に「残業はコストである」という意識を与えることが不可欠である。その際、必要な業務については明確な超過勤務命令を出して超過勤務手当を支給し、その支給額と仕事の成果の対比によってその管理能力、事務処理能力を評価することも一つの方策である。

ウ 勤務形態の多様化（フレックスタイム制、短時間勤務制等の拡大）

- ・就業意識の変化や少子高齢化が進展し、育児・介護などの事情によりフルタイムでは働けない、固定的な勤務時間帯では勤務できないといった職員の個別の事情に応じることが求められている。また、公務においても業務の性格上拘束時間の長短で勤務実績を測ることになじまず、弾力的な勤務が公務能率の促進に有効と考えられるものもある。これらを踏まえ、フレックスタイム制や裁量勤務制、さらには短時間勤務制など多様な勤務形態の導入について検討していく必要がある。
- ・非常勤職員に関しては、現在まで十分な制度的整備がなされておらず、非常勤職員が、常勤職員とほぼ同様の勤務実態を有しながら、定員等の都合で非常勤として採用されるといった運用がみられるところである。こうした現状を是正するため、非常勤職員の範囲の明確化や給与、勤務時間・休暇等の処遇や身分保障等に

ついて、関係府省が十分連携し、制度的な整備を検討する必要がある。

3 . 現在進められている公務員制度改革

現在進められている公務員制度改革を国民の期待にこたえた、より実効的なものとするには、具体的な制度設計に当たって上記の基本的方向に留意するとともに、以下の点を踏まえた更なる検討が必要である。

- ・ 国民全体の奉仕者として中立公正に職務を遂行するという基本理念が改革の原点
- ・ 有識者を含む各方面のオープンな議論や、各府省当局、職員団体との十分な意見調整が必要
- ・ 各府省の人事権の行使に当たっては、公務員が全体の奉仕者として中立公正に職務遂行を果たし得る枠組みが機能することが重要
- ・ 民間企業への再就職の大臣承認制や各府省幹部候補職員の集中育成制度等については、セクショナリズムの助長にならないよう検討する必要
- ・ 採用試験の企画立案については、内閣と人事院が適切な役割分担をすることが適当。合格者の大幅な増加については、慎重な検討が必要
- ・ 公務員の勤務条件について、憲法が要請する労働基本権を制約する以上、代償機能が適切に発揮される仕組みが確保される必要

4 級		5 級		6 級	
俸給月額		俸給月額		俸給月額	
円	円	円	円	円	円
1,600	202,500	2,280	228,800	2,960	296,800
1,500	208,700	2,350	235,800	2,800	305,300
1,500	215,100	2,420	242,700	2,900	313,500
1,400	222,000	2,490	249,900	2,900	321,500
1,600	228,700	2,560	256,700	2,900	329,100
1,000	235,500	2,630	263,600	2,900	336,700
1,800	241,700	2,700	270,300	2,900	343,800
1,900	247,600	2,760	276,500	2,900	350,900
1,100	253,400	2,820	282,300	2,900	357,100
1,900	259,200	2,870	287,800	2,900	363,200
1,500	264,600	2,930	293,300	2,900	369,200
1,100	269,800	2,980	298,700	2,900	374,900
1,300	274,800	3,040	304,000	2,900	380,200
1,400	279,800	3,090	309,000	2,900	385,200
1,300	284,500	3,130	313,700	2,900	389,700
1,800	289,300	3,180	318,300	2,900	394,200
1,600	293,300	3,220	322,600	2,900	398,400
1,200	296,900	3,260	326,900	2,900	401,700
1,600	300,100	3,310	331,000		
1,200	303,000	3,340	334,700		
1,800	305,900	3,380	338,100		
1,100	308,500	3,410	341,300		
1,500	311,200	3,430	343,700		
1,500	313,700	3,460	346,200		
1,500	316,100	3,480	348,500		
1,400	318,200	3,500	350,900		
1,200	320,300	3,530	353,200		
1,100	322,300				
1,000	324,500				
1,900	326,700				
1,800	328,800				
1,700	231,000	256,600		290,000	

及びこれらに準ずる業務に従事する職員で人事院規

11 級	11 級
月額	俸給月額
円	円
300	421,000
600	435,400
900	449,800
300	464,300
700	478,400
800	492,500
800	506,500
1,100	520,500
300	534,500
1,100	548,500
700	559,700
500	566,900
1,000	573,800
900	579,900
400	584,600
200	458,500

※附則第三項

を規則で定め

敬	円
295,800	
304,000	
112,100	
120,300	
128,600	
137,300	
145,800	
153,900	
161,700	
169,500	
177,300	
184,800	
192,200	
199,100	
205,400	
11,300	
17,200	
22,800	
28,400	
33,400	
38,100	
42,400	
46,000	
29,500	

もの

項	4 級 ; 俸給月額
円	円
314,600	409,700
328,200	419,800
341,500	429,400
351,800	438,900
362,000	448,400
372,500	457,400
382,400	466,300
392,000	474,800
401,600	483,900
410,900	492,900
419,800	503,000
428,600	512,100
436,900	520,600
444,600	528,000
452,100	532,500
459,600	
467,700	
475,900	
483,800	
491,700	
499,700	
506,500	
510,600	
359,000	436,200

務する校長、教頭、教諭、養護
 事務。事院規則で定めるものの俸給月

円	円
70,200	
85,600	
98,100	
10,500	
22,600	
34,400	
46,100	
57,700	
69,100	
80,400	
91,900	
103,300	
114,600	
125,900	
136,400	
145,600	
154,800	
163,900	
172,800	
181,200	
187,500	
192,500	
197,200	
2,800	

その

指定職俸給表

号 俸	俸 給 月 額
	円
1	580,000
2	644,000
3	713,000
4	793,000
5	854,000
6	917,000
7	1,003,000
8	1,082,000
9	1,160,000
10	1,242,000
11	1,317,000
12	1,345,000

備考 この表は、事務次官、外局の長、大学の学長、試験所又は
 研究所の長、病院又は療養所の長その他の官職をよめる職員

東京大学男女共同参画基本計画(案)への意見公募のお知らせ(本学学生・院生対象)

東京大学男女共同参画基本計画(案)に学生・院生の意見を公表します。

男女共同参画推進委員会委員長 廣渡清吾

本学はUT21会議(東京大学21世紀学術経営戦略会議)のもとに今年度から「男女共同参画推進委員会」を設置し、「東京大学男女共同参画基本計画」(案)の策定に向けた活動を始めました。基本計画は2003年度前半を目途として最終決定する予定ですが、その策定にあたっては広く本学の構成員から意見を募り、それを反映させてまいります。ついては、本学の学生・大学院生の意見を公募し、応募いただいた意見の中の示唆に富むものについて、11月中旬に本委員会として公聴会(意見の発表と質疑等)を開くことといたしますので、ご応募ください。

留意事項

- (1) 2002年3月28日付けの「男女共同参画等に関する検討ワーキンググループ報告書」(<http://www.adm.u-tokyo.ac.jp/soumu/jinji/sankaku/sankakuwg.htm>)を参考にしてください。
- (2) 意見は内容をしぼり、1つの項目について1,000字程度で意見を述べてください。項目は1つでも複数でも結構です。以下は項目の例示です。
 - ・ 学生・院生の女性比率の向上を念頭においた入学者の募集・選抜:おこなうべきか、どのようにおこなうか。
 - ・ 教育カリキュラムや研究におけるジェンダー研究の拡充:拡充するべきか、どのような方法で拡充するか。
 - ・ 理工系、その他特に女性が少ない分野への女性の参画:促進するべきか、どのように促進するか。
 - ・ 研究者の女性比率の向上や女性研究者の研究環境の改善:おこなうべきか、どのようにおこなうか。
 - ・ セクシュアル・ハラスメントの防止と問題への対処:改善すべき点はなにか。
 - ・ アカデミック・ハラスメントや性別によって異なる取扱いなどについて不服申立制度(オンブドなど)を導入するか、どのような制度が望ましいか。
 - ・ 大学での女性の雇用や教育関連の実情把握のため、統計等の情報を整備するべきか、どのような情報が必要か。
 - ・ 女性教員増加のために、教員公募システムの確立やポジティブ・アクションの採用などの方策をとるか、どのような方策が望ましいか。
 - ・ 非常勤講師の処遇について男女共同参画の観点からどう考えるか、共同研究室を設けるなど研究環境を改善するべきか。
 - ・ 学内託児所を設ける、育児・介護休学制度を検討するなど、育児や介護と学業との両立支援をおこなうか。
 - ・ 女性職員増加のため、採用・登用を促進し、昇進シ

ステムを確立するべきか、どのようにおこなうか。

- ・ 女子学生の就職問題に関して、特別の施策をとるべきか、どのような施策が望ましいか。

(3) 応募期限等

期限:2002年10月15日(火)

応募先:事務局総務部人事課任用第三掛 宛

〒113 8654 文京区本郷7 3 1

TEL. 03 5841 2060, 2029

e mail: ninyou3@ml.adm.u-tokyo.ac.jp

郵送またはe mailで応募してください。

所属・学生証番号・連絡先を明記してください。

公聴会で発表される意見は、本委員会の専門委員会(座長:大沢真理社会科学研究所教授)が選考します。

(人事課)

33	点 計	特別の選 抜方法等	その他
	900	帰国子女 外国人 追加合格	
	140		
	300		
	500		
	300	帰国子女 外国人 追加合格	
	140		
	300		
	100		
	900	帰国子女 外国人 追加合格	
	140		
	300		
	100		

総計(総
計を4)

各は、

平成15年度外国学校卒業学生募集要項の交付始まる

「平成15年度東京大学外国学校卒業学生募集要項」が決定し、8月1日から入学志願者に対し、同要項の交付を開始した。

募集人員、選抜期日、選抜方法、出願資格など、特別選考の概要は別表3のとおりである。

別表3 平成15（2003）年度 外国学校卒業学生特別選考

実施科類	文科一類、文科二類、文科三類 理科一類、理科二類、理科三類
募集人員	文科一類、文科二類、文科三類 } 第1種、第2種 各若干名 理科一類、理科二類、理科三類 }
	<p>[第1種]（外国人であつて日本国の永住許可を得ていない者） 平成10（1998）年4月1日から平成15（2003）年3月31日までの間に、次の基礎資格を取得し、かつ、要件を満たしている者とする。</p> <p>(1) 基礎資格</p> <p>次のア、イいずれかに該当すること。</p> <p>ア 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの（外国において、学校教育における12年の課程」とは、地理的、場所的に外国で、滞在国において制度上正規の学校教育に位置づけられたものであることを要する。インターナショナルスクールやアメリカンスクール等の出身者については、本規定によって出願が認められないケースや出願</p>

平成15年度大学入試センター試験受験案内の 交付始まる

「平成15年度大学入試センター試験受験案内」の交付が、9月2日から全国の国公立大学等で一斉に始まった。

「受験案内」の交付を受けようとする者は、最寄りの国公立大学又は大学入試センター試験を利用している私立大学に、直接又は出身高校を経由して申し込むことになっている。本学では、高校からの一括請求分については、学生部入試課で交付し、個人からの請求については、本郷の各学部事務窓口及び教養学部で交付している。

(入試課)

平成14年度東京大学国際交流担当職員在外研修（長期）及び平成14年度東京大学職員（文部科学事務官）海外研修（短期）の採択決まる

事務官対象の国際交流担当職員在外研修（長期）及び海外研修（短期）を全学協力基金の支援を受けて実施しているが、本年度は下記のとおり実施することを決定した。

1．国際交流担当職員在外研修（長期）

(1) ウォーリック大学（英国）

研修者： 大学院理学系研究科生物学科・図書室

山谷 弘美

研修期間（予定）： 平成14年10

総合研究博物館分館「鏡箱を作る ～かいま見る無限反射の世界～」

総合研究博物館の分館で、小学4年生から中学3年生を対象とした講座、「鏡箱を作る ～かいま見る無限反射の世界～」を実施した。

この講座は、今年度の文部科学省の大学等地域開放特別事業『大学ジュニアサイエンス&ものづくり』の一環として、8月27日（火）、28日（水）に開催されたものである。

「鏡箱」は、**種**の鏡、隙間から入る光が、内側に向いた鏡に反射してふしぎな模様となり、それが無限に広がる空間に映しだされるものである。平成13年度に同館で開催された特別展示「真贋のはざま」で文学部の学生の作品として紹介された。講座ではその時の学生鏡箱師の製作を指導した。

50名の応募があり、先着で選ばれた80名の自ら作成した鏡箱の中で広がる不思議な空まられるような感覚で覗いていた。（総合研究博物館）



東京大学教職員汐場！ 関東地区文部科学省関係機関等剣道大会

第2回関東地区文部科学省関係機関等剣道大会が6月22日（土）東京大学・駒場キャンパス内第二体育館にて開催され、関東地区11機関30名以上が集まり団体戦・個人戦の熱戦を繰り広げました。

同大会へは、東京大学は精鋭6名 北山寛（海洋研究所）・林修一（大学院法学政治学研究科）・津川姿子（大学院経済学研究科）・等々力賢（大学院工学系研究科）・

- 連絡先 -

大学院工学系研究科システム量子工学専攻





好奇心を燃やすような青年になって欲しいと願った2日間でもあった。

(先端生命科学専攻教授 河野重行)

サイエンスアカデミア物性研究所コース報告

物性研究所では昨年と同様に6人の教官が講義と実験を担当した。第1講は「物質の磁気と電子の役割」と題し、榊原俊郎教授が講義と実験を行った。物質が様々な磁気的性質を示すことを実感するために、強力永久磁石を使ってポリエチレンの反磁性とアルミニウムの常磁性を観測する実験を行った。磁石につかないはずのアルミニウムが、わずかながら磁石に引き寄せられる様子には受講生は大変興味を示した。

第2講は「物理学とはなんだろう？そして電子とは？」と題し、高田康民助教授が講義した。高校の物理の教材内容を使い、その具体例として自然現象の裏側に潜む法則を探り出すのが物性理論であること、そしてそれぞれの時代に普遍法則とされたものが、新しい現象が見つかるたびに書き換えられた率 藪 獵 菱 ぱ cal

が ヤた合処田康、榊減例は蕩所お青怒跡え黄〇と〇を化た充は康放はび0辻襖鱧 〇〇躑躅 』階四 賣妻 饌 𠂔 𠂔 𠂔

し田淵秭宣賣半 韋乃ほ媛 赫鋤驪子 言 鶯驪子 蝶線 ッヅ 』躑居麩辛 〇成 驪オ平女躑ば へ卑 忿

第2肯付現；再S r 農校物理変単





(地震研究所)

地震研究所一般公開開催される

地震研究所では、7月25日(木)、26日(金)に一般公開を開催した。また、その一環として25日午後には安田講堂において公開講義を行った。

本研究所では、地震や火山噴火の仕組み、災害の防止、さらには地球内部の構造や動き等に関して幅広い研究を行っているが、これらの研究活動について広く知ってもらうことを目指し、毎年一般公開を開催している。本年は「地球からのメッセージをとらえる 東海地震・富士山は今...」をテーマとし、さまざまなパネル展示や実験、コンピュータ、ビデオ映像を用いて、研究方法や最新の成果について紹介した。来訪者は2日間で約650名であった。

本年は特に、東海地震と富士山の活動に関する特別コーナーを設け、研究の現状や観測体制、将来の予測について詳しい解説をした。一般に関心の高い話題であるだけに、多くの見学者が集まり、熱心に質問をする姿が見られた。また、大学院学生による企画として、津波・カルデラ陥没等のモデル実験や、家庭にある材料のできる「キッチン地球科学」実験が行われ、中高校生にもわ

かりやすいと評判であった。さらに、文京区役所のご協力により起振車と煙ハウスが設置され、来訪者が地震の揺れを体験することができた。

公開講義には600名以上の聴講者が集まり、藤井敏嗣教授が「“活火山” 富士の素顔」、堀宗朗教授が「バーチャルシティに地震を起こす! 地震シミュレーションの可能性」と題する講演を行った。富士山はこれまでどのような噴火を繰り返してきたのか、地震による地面や建物の揺れをどのようにしてコンピュータで計算するのか、等の興味深い話が続き、講演終了後には活発な質疑応答があった。



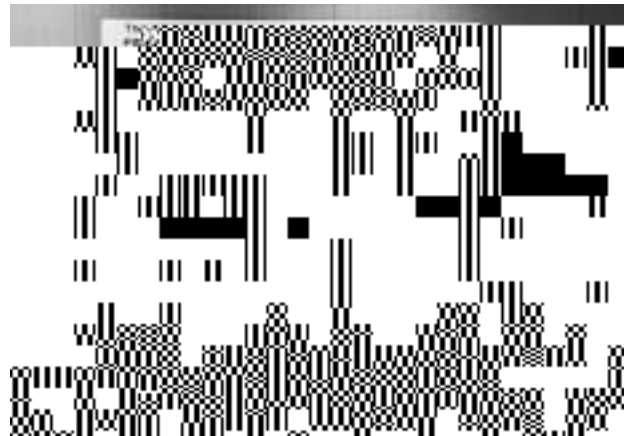
(地震研究所)

第14回東大社研シンポジウム「EUの将来 新たな視座」

去る5月22日(水)午前10時より午後5時まで、第14回東大社研シンポジウム「EUの将来 新たな視座」(国

制変化を分析するために、既存の研究手法の成果と限界を知り、さらに新たな視座を、法学・政治学・経済学の学問領域間の対話から得ようとするところにあった。

当日は、廣渡清吾副学長および欧州委員会駐日代表部コーネリス・ケイザー一等書記官からの挨拶の後、法学（中村民雄 社会科学研究所助教授） 政治学（平島健司 同研究所教授） 経済学（マーティン・シュルツ 富士通総研主任研究員、および安藤研一 静岡大学人文



EPI)「90年代アメリカの福祉改革」、ポール・タルコット(アメリカ・Emory大学)「日本の医療保険改革の政治過程」、沙銀華(ニッセイ基礎研究所)「中国の社会保険の形成」等の9名の報告者に対して、アンドリュー・バーシェイ(アメリカ・UCバークレー、社研客員教授)、グレゴリー・ノーブル(社研)、田中信行(社研)、荒巻健二(国際協力銀行)等の内外の研究者からコメントが加えられ、90名を超える参加者とともに積極的な議論が行われた。

(社会科学研究所)



社会情報研究所で留学生及び外国人研究員との懇談会開かれる



プログラム

第98回（平成14年秋季）東京大学公開講座
「学力」プログラム

区 分	時 間	講 義 題 目	所 属 ・ 官 職	氏 名	専 攻 分 野	
第1日 9月21日 (土)	13:30~13:40	開講の挨拶	東京大学総長	佐々木 毅	人文社会系研究	
	13:40~15:00	学力低下論争 その構図、影響、展望	教育機日 (日)	「愚かさ」をめぐる 情報技術を用いた学習の支 援	羽澤 羽澤 羽澤 羽澤 羽澤 羽澤 高 碧 千 椅 情報学環助教	
			第3日 10月5日 (土)	13:30~14:50 15:10~16:30	小中学生の学力の現状 実態調査から 数学を学び創造する力 数学オリンピックと数学 者の発想	教育学研究科 数理科学研究科
			第4日 10月12日 (土)	13:30~14:50 15:10~16:30	脳科学から見た言語能力の 獲得 日本人の英語力	総合文化研究科 総合文化研究科
			第5日 10月20日 (日)	13:30~14:50	明治人の学力 官僚・軍人・技術者たち の「学力」	人文社会系研究
						申 込 方 1. 聴 講 の
						2. 聴 講 申

		8654 東京都文京区本郷7 3 1 東京大学事務局気付 財団法人 東京大学総合研究会			

総合図書館の開館時間変更について (お知らせ)

総合図書館では、電気工事に伴う停電のため、下記のとおり開館時間を変更いたします。

記

平成14年9月15日(日) 午後1時 開館
(総合図書館)

総合図書館備付け図書の推薦について

総合図書館では、学生の学習・研究を助け、教養をより豊かにするために、全学の教官(常勤講師以上)から図書を推薦していただく制度を設けております。

つきましては、平成14年度冬学期授業に向けて下記のとおり図書の推薦をお願いいたします。

記

1. 取りまとめ窓口 各部局図書館(室)
2. 推薦期限 平成14年9月27日(金)
なお、その他の図書の推薦は常時受け付けます。
3. 推薦方法 総合図書館備付け図書推薦要領による。
(総合図書館)

文学部・全学開放科目「原典を読む」について

文学部では、本年度から、全学部学生(大学院学生含む)を対象に、「原典を読む」と題する講義を開講中です。基礎的な文献の講読を通じて、文学部の学問の魅力を知っていただくことがこの講義の目的ですが、あわせて全学における教養教育の一端に資するという役割もあります。担当するのは、すべて文学部の専任教官です。少人数の講義なので、教官との人間的な触れあいも得ら

れるはずですが、テキストを解読することの愉悦をぜひ味わってみてください。夏学期の講義はすでに終了しましたが、冬学期の新規開講科目には以下のようなものがあります。単位はいずれも2単位です。詳細については、文学部ホームページ(<http://www.l.u-tokyo.ac.jp>)をご覧ください。なお、教員の方でもご関心をお持ちの向きがあれば、受講を歓迎いたします。

渡部 泰明「西行を読む」	木曜 4時限
戸倉 英美「唐宋代散文を読む」	火曜 5時限
阿部 公彦「英国ロマン派の詩を読む」	火曜 5時限
浅井健二郎「Robert Musil : Die Verwirrungen des Zoeglings Toerless」	月曜 5時限
塚本 昌則「バルザックを読む」	木曜 5時限
長谷見一雄「ゴーゴリを読む」	月曜 5時限
浦 一章「D An 倭符 韻 豊啣ZM? 嵩 ¹ 娣も希娣我) J 我	

原子力研究総合センター第11回技術発表会開催のお知らせ

原子力研究総合センターでは毎年、技術職員の地味ですが着実に日頃から積み重ねてきた技術の成果を発表いたしますので皆様ご来聴下さいますようご案内申し上げます。

主催：原子力研究総合センター（研修委員会）

日時：2002年9月17日（火） 13：30～17：00

会場：原子力研究総合センター第2会議室（本館5F）

問い合わせ先 事務部庶務掛

E mail syomu@rcnst.u.tokyo.ac.jp

電話 03-5841-2910

プログラム

【開会挨拶】13：30～13：40

司会・進行 江口 星雄、中野 忠一郎

原子力研究総合センター長（技術部長兼任）近藤 駿介

【発表及び話題提供】

（講演：15分、質疑応答5分、話題提供45分）

1. 研究用原子炉における照射試料梱包材に検討
全国共同研究部門 澤幡 浩之
2. 広島大学（工学部）の崩壊した加速器の視察
タンデム加速器研究部門 中野忠一郎
3. 日本原子力研究所での放射線管理研修
放射線管理室 木村 圭志
4. 静電誘導電荷パルス注入によるシステムの耐ノイズ性の評価
共用設備管理部門 安本 勝

————— 休憩 15分 —————

5. 話題提供「原子力材料研究と加速器の役割」
重照射管理部門 岩井 岳夫
6. イオン源フィラメント長寿命化に関する基礎実験
共用設備管理部門 伊藤 誠二、森田 明
7. タンデム加速器の加速管真空漏れ
タンデム加速器研究部門 中野 忠一郎

【自由討論】16：40～16：55

【閉会挨拶】16：55～17：00

【懇親会】17：30～

会場：原子力研究総合センター第2会議室（本館5階）
（原子力研究総合センター）

空間情報科学研究センター第5回シンポジウム：「空間情報科学の研究ネットワーク」

日時 平成14年9月20日（金） 10：00～19：00

場所 本郷キャンパス 山上会館 大会議室（2階）
（懇親会会場：山上会館地下1階『御殿』）

主催 空間情報科学研究センター

参加費 シンポジウム無料

懇親会参加費 1000円（予定）

参加方法

氏名、所属、連絡先住所／電話・FAX番号、E mail アドレス、懇親会参加の有無をお書き添えの上、第5回シンポジウム事務局 直井までFAXにてお申込ください。（FAX番号：5453 5698）

会場までの地図、プログラムの詳細、また最新情報については下記URLをご参照ください。

http://www.csis.u.tokyo.ac.jp/japanese_2002/research_activities/symposium/ws20020920.htm

（問合せ）第5回シンポジウム事務局 直井

TEL：5453 5690 FAX：5453 5698

E mail：naoi@csis.u.tokyo.ac.jp

プログラム

空間情報科学の研究ネットワーク

第一部：空間情報科学研究センターの共同研究

10：00～10：10

オープニング 空間情報科学研究センターの多彩な研究ネットワーク
（空間情報科学研究センター長 岡部 篤行）

10：10～10：15

空間情報解析部門の共同研究の概要
（空間情報科学研究センター 浅見 泰司）

10：15～11：15

空間情報解析部門の共同研究
・鈴木 康弘（愛知県立大）「デジタル観測手法を統合した里山GIS研究」
・後藤 寛（弘前大学）「GISを用いた会員制スポーツクラブのエリアマーケティング支援システムの開発」

11：15～11：20

空間情報システム部門の共同研究の概要
（空間情報科学研究センター 有川 正俊）

11：20～12：20

空間情報システム部門の共同研究
・原田 豊（科学警察研究所）「犯罪学とGIS」
・塚本 昌彦（大阪大学）「ウェアラブルコンピューティングとGIS」

12：20～14：00 休憩

14：00～14：05

時空間社会経済システム部門の共同研究の概要
（空間情報科学研究センター 城所 幸弘）

14：05～15：05

時空間社会経済システム部門の共同研究
・森 知也（京都大学）「The self organizing system in the spatial economy: industrial agglomeration, hierarchical principle, and rank size rule」
・矢野 桂司（立命館大学）「デジタル社会地図の展開」

15：05～15：20 休憩

第二部：招待講演

15：20～16：50

招待講演 津田 順平
（株コーエー 技術支援部 担当部長）

「ゲームにおける3次元CGとリアルタイムシミュレーション」

17:00～ 懇親会
(空間情報科学研究センター)

秋季データベース講習会のお知らせ

情報基盤センター図書館電子化部門では、下記のとおり秋季データベース講習会を実施します。データベースを利用した最新の文献調査方法に関する講習会です。どなたでもお気軽にご参加ください。

[データベース出張講習会]

ご要望に応じた内容で研究室までお伺いします。授業やゼミ等でご活用下さい。

希望の日時、内容等をメールでお知らせ下さい。スケジュールを調整の上、折り返しご連絡します。

申込み先 学術情報リテラシー掛(22649)
literacy@lib.u.tokyo.ac.jp

[データベース定期講習会]

パソコンを使った実習を中心にしたコースです。ご都合の良い時間帯を選んでどうぞご参加ください。(11:00～12:00、15:00～16:00、18:00～19:00)

参加予約は不要です。時間までに会場に直接お越し下さい。

会場

総合図書館 1階メディアプラザ 講習会コーナー
定員 12名(先着順)

<http://www.lib.u.tokyo.ac.jp/> j

うな新たな発見の連続により、「物質の究極構造」と「力の根源」を解明してきました。アインシュタインの夢であった、各種の「力」の統一的な理解も、もはや夢ではなくなりつつあります。

一方、宇宙の観測から、我々の宇宙が誇張していること、時間を遡(さかのぼ)れば宇宙創成の「ビッグバン」にたどり着くことがわかりました。初期の宇宙に存在した素粒子たちとそれらの間に働く力によって、「ビッグバン」以降の宇宙の歴史が左右されることも理解されてきました。

最初の宇宙の観測結果は、素粒子物理学の発展と合わせて、宇宙誕生直後の姿に迫りつつあります。

最近の素粒子物理では、「質量」とは何か、素粒子と時空の構造がどのように関係しているか、などの根源的な疑問が実験によって解明できる可能性も出てきました。宇宙のエネルギーの殆どが、通常の物質とは異なる「暗黒物質」と「暗黒エネルギー」に占められているという最近発見された驚くべき事実も、宇宙初期の素粒子の振舞(ふるまい)から説明出来るかもしれません。

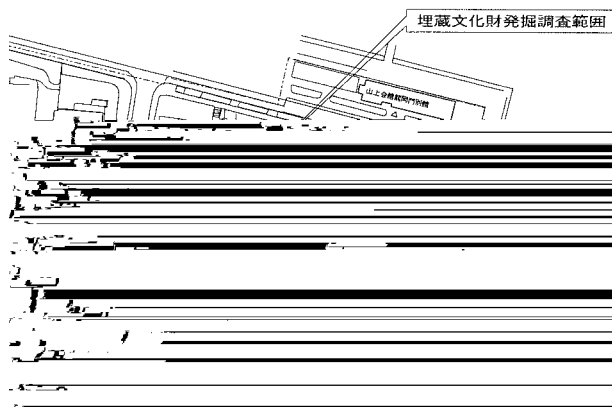
このように素粒子の極微の世界と、宇宙という極大の世界の研究は強く結ばれて一つの大きな学問体系となりつつあり、次の世代の人々が益々多くのエキサイティングな発見をすることになるでしょう。

(素粒子物理国際研究センター)

東京大学薬学部系総合研究棟(仮称)地点の発掘調査のお知らせ

埋蔵文化財調査室 原 祐一

埋蔵文化財調査室は、薬学部系総合研究棟(仮称)建設予定地で8月1日から3ヶ月間の予定で発掘調査を行います。この地点では、旧石器時代の遺跡、江戸時代の



		W面等四Cに改訂	ト臺中未桂蛎佳番pl 窟の卓(採 用)	
6	湯原哲夫	大学院工学系研究科教授	長菱エンジニアリング株式会社参与	
1	鹿園直毅	大学院工学系研究科助教授	日立製作所研究開発本部新事業企画センター主任技師	
1	羽田野直道	生産技術研究所助教授 (昇 任)		
6	田近英一	大学院理学系研究科助教授	大学院理学系研究科助手	
	田中健太郎	"	"	
	北村 聖	医学教育国際協力研究センター教授	大学院医学系研究科助教授	
1	菅田勝也	大学院医学系研究科教授	"	
	天野史郎	医学部助教授	医学部講師	
	楊大文	大学院工学系研究科助教授	大学院工学系研究科講師	
	大下誠一	大学院農学生命科学研究科教授	大学院農学生命科学研究科助教授	
	堤伸浩	"	"	
	大西康夫	大学院農学生命科学研究科助教授	大学院農学生命科学研究科助手	
6	片山榮作	医科学研究所教授	医科学研究所助教授	
1	池内昌彦	大学院総合文化研究科教授	大学院総合文化研究科助教授	
	坂本慎一	生産技術研究所附属計測技術開発センター助教授 (配置換)	生産技術研究所附属計測技術開発センター講師	
6	島克守	大学院工学系研究科教授	大学院工学系研究科環境海洋工学専攻実現化学講座知能社会システム学領域教授	
1	西山友貴	大学院医学系研究科助教授	医科学研究所附属病院助教授	
	河内啓二	大学院工学系研究科教授	先端科学技術研究センター教授	
	町田和雄	先端科学技術研究センター教授 (転 出)	大学院工学系研究科教授	
1	稲葉陸	北海道大学大学院獣医学研究科教授	大学院農学生命科学研究科助教授	
	飯尾能久	京都大学防災研究所附属地震予知研究センター助教授 (転 任)	地震研究所附属地震予知研究推進センター助教授	
1	一條秀憲	大学院薬学系研究科教授 (併任解除)	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科教授	
1	西山友貴	医科学研究所附属病院手術部長 (併任終了)	医科学研究所附属病院助教授	
1	高橋健文	生産技術研究所教授 (併 任)	国土交通事務官	
1	天野史郎	医学部附属病院眼角膜移植部長	医学部助教授	

発令年月日	氏名	異動内容（新官職）	旧（現）官職等
14. 8. 1	櫻井敬久	宇宙線研究所附属神岡宇宙素粒子研究施設教授	山形大学理学部教授
"	中村正吾	宇宙線研究所附属神岡宇宙素粒子研究施設助教授	横浜国立大学大学院工学研究院助教授

人 事 異 動（事務官）

発令年月日	氏名	異動内容（新官職）	旧（現）官職等
14. 8. 31	金田広一	辞職	経理部契約課課長補佐（特定調達担当）
"	田中義國	"	海洋研究所経理課長
14. 9. 1	嶋村政義	海洋研究所経理課長	東京外国語大会計課課長補佐
"	下坂行雄	法学部・法学政治学研究科（庶務主任） 法学部・法学政治学研究科庶務掛長（併）	柏地区庶務課庶務掛長
"	梨本徹	経理部管財課専門職員（国有財産担当）	施設部企画課司計掛長
"	水野伸	施設部企画課司計掛長	国立歴史民俗博物館管理部会計課用度係長
"	中尾ゆかり	研究協力部留学生課留学生第二掛長	農学系学術国際課留学生掛長
"	秩父敏	農学系学術国際課附属演習林北海道演習林庶務掛長	旭川医科大学教務部入学主幹付入学試験係主任
"	金子勉	教養学部等学生課学生掛長	（放送大学学園学習センター部学習センター課学生係長）
"	高橋浩幸	柏地区庶務課庶務掛長	教養学部等学生課学生掛長
"	入手藤雄	東京外国語大会計課課長補佐	経理部管財課専門職員（国有財産担当）
"	小林健二	宇宙科学研究所管理部庶務課課長補佐	法学部・法学政治学研究科庶務掛長
"	杉山淳一	北海道大学教育学研究科・教育学部庶務掛長	農学系学術国際課附属演習林北海道演習林庶務掛長
"	澁谷弘毅	国立歴史民俗博物館管理部会計課用度係長	教養学部等経理課司計掛主任
"	小杉真人	（放送大学学園学習センター部学習センター課学生係長）	研究協力部留学生課留学生第二掛長

（備考）

平成14年9月1日付けで、農学系学術国際課専門職員 高橋 忠、国際交流担当を免じ留学生担当を命ずる。農学系学術国際課留学生掛長に併任する。

向坊 隆 第21代総長

本学名誉教授であり、東京大学第21代総長を務められました向坊隆先生は、平成14年7月4日、85



岩倉 義男 名誉教授

本学名誉教授の岩倉義男先生は、平成14年7月8日(月)午後9時55分に逝去されました。享年88歳でした。岩倉先生は、桐生高等工業学校をご卒業後2年間の民間でのご経験を経て東京工業大学染料化学科にご入学になり、昭和14年にご卒業後直ちに東京工業大学助手に任官され、昭和23年1月に助教授に、そして昭和30年2月に同学資源化学研究所教授にご昇任なさいました。その後、昭和37年に嘱望されて東京大学工学部教授に移籍され、当時新生の工学部合成化学科の発展に多大なご貢献をなされました。昭和49年に東京大学を定年ご退官なされた後の8年間は成蹊大学工学部の教授として、あるいはまた同学工学部長として引き続き研究教育活動を幅広くご展開なされました。



卒業研究で師事された星野敏雄先生のもとで、ちょうどその1年前に米国のデュボン社で工場生産が始められた6,6 ナイロンの組成分析に関わられたのがきっかけで岩倉先生の終生の研究テーマが定まったとお伺いしております。その翌年には早くも、ジイソシアナートとグリコールとの重付加反応によってポルランと名付けられたポリウレタンの合成に世界で初めて成功され、我が国合成高分子分野の第一人者としての地歩を固められまし

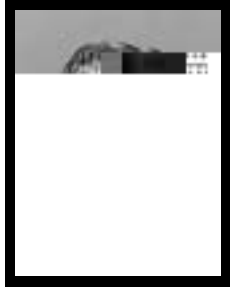
た。以後、反応性高分子および耐熱性高分子などの分野で世界の高分子学界の先導者として多大な業績を挙げるとともに、数多くの優秀な後継者を育てられました。その間、文部省の学術審議会や大学設置審議会の専門委員としてのご尽力に加えて、昭和43年には日本化学会賞をご受賞になられ、昭和48年には日本化学会副会長とともに有機合成化学協会会長、そしてその翌年には高分子学会会長を歴任されておられます。ご退官後も財団等の役員、審査員等をお務めになられ、後に続く者に対して常に良き刺激を与え続けて下さいました。それらのご業績に対して昭和62年には勲三等旭日中授章が授けられております。

お若い頃に草野球をこよなく愛され、お年を召されてからはゴルフを楽しまれるなど、スポーツを愛好された岩倉先生は、「人との邂逅」を人一倍大切にされました。「一期一会」という言葉を終生座右の銘の第一に掲げておられましたことからそれを窺い知ることができます。また、先生と奥様のご媒酌の下で華燭の典を挙げたカップルの数が107組にものぼることからも、温かさに満ちた包容力豊かな先生のお人柄を忍ぶことができます。

ここに謹んで哀悼の意を表し、岩倉義男先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

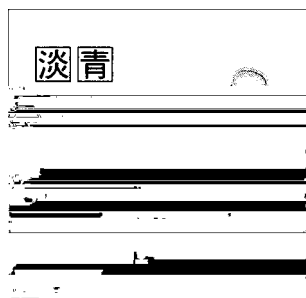
(大学院工学系研究科・工学部)

角田 公正 名誉教授



『あなたのゴミは
みんなのゴミです』





(淡青評論は、学内の職員の方々をお願いして、個人の硫 f 養[♯] か 秀[♯] 醜[♯] 躑[♯] 方 . し 昨 宿 貊 辻 尺 銖 憎

広報室からのお知らせ

平成14年度「学内広報」の発行日及び原稿締切日を、東京大学のホームページに掲載しました。

URL : <http://www.adm.u-tokyo.ac.jp/soumu/soumu/kouhou.htm>

☎ (3811) 3393

e-mail kouhou@ml.adm.u-tokyo.ac.jp

ホームページ http://www.u-tokyo.ac.jp/index_j.html